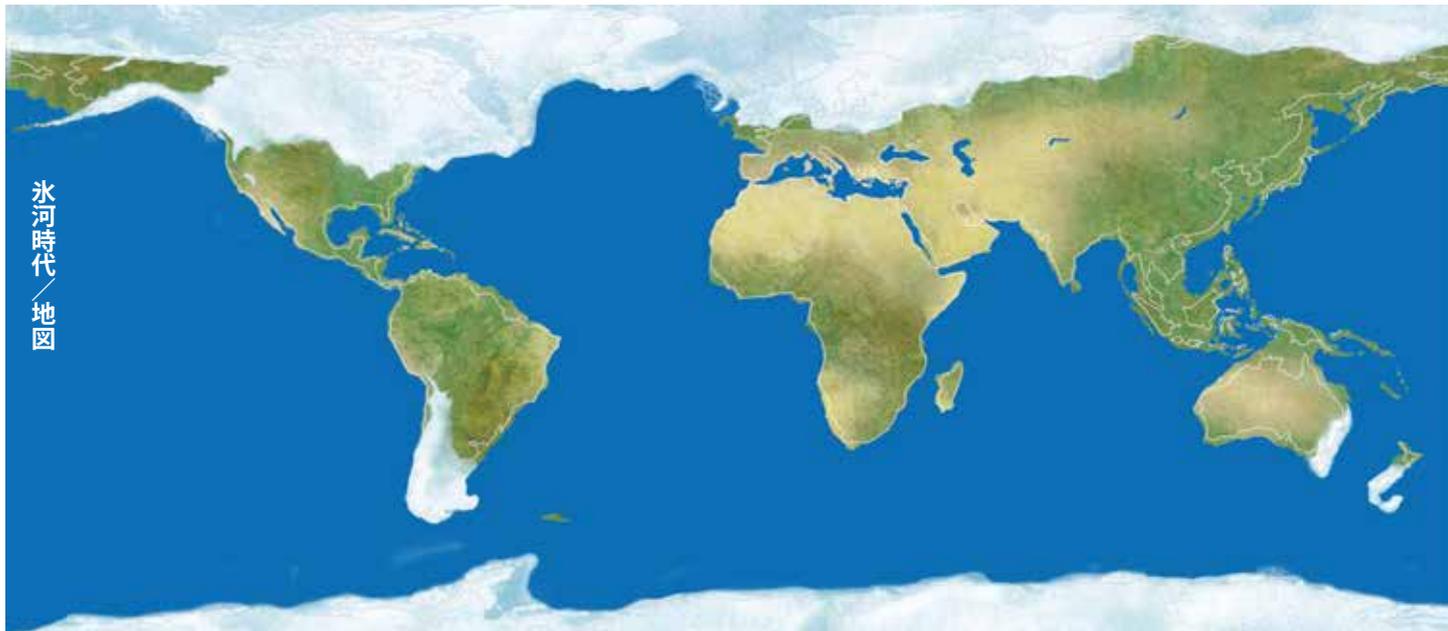




天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。
わたし、主は、
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。
イザヤ四十二章5、6節

**ノアの生涯の六百年目の第二の月の十七日、
その日に、巨大な大いなる水の源が、ことごとく
張り裂け、天の水門が開かれた。創世記7章11節**



氷河時代/地図

巻頭言 宇佐神実 ジェネシスジャパン会長

創世記が鍵：氷河時代の謎を解く

【氷河期に対する視点の違い】

私たちの世界を調べるとき、その人がどのような視点でものを見るかによって、結論が全く違ってしまいます。氷河期に関しても、進化を信じる科学者と創造を信じる科学者では、全く違った結論に至ります。

氷河は、複数年にわたって雪が堆積し、堆積した雪が圧縮されてできます。南極氷床の平均の厚さは2450mですから、南極はかなりの厚さの氷河に覆われていることがわかります。(次ページ写真/ペリト・モレノ氷河)

氷河期には、地表の約30%が氷河に覆われた証拠が残っています。その証拠とは、氷河によって形成される独

特な地形(氷堆積:モレーン、圈谷:カール、U字谷など)や、岩の上に残る氷河の移動によって特定の方向に傷ついた跡などです。

かつて進化論を信じる科学者は、地球の歴史では4回の氷河期があったと信じていました。現在でも博物館でそのように展示されているところもありますが、1970年代から30回以上の氷河期があったという仮説が主流になっています。これは、天文学的要因(ミランコビッチ・サイクル)によって、最も地球が寒冷化するときに氷河が発達したと考えられるようになったためです。

創造を信じる科学者は、これとは全

く違う視点で氷河期を考えています。天地創造から約6000年の歴史の中で、氷河期が存在するのに最適の時期があったと考えています。それは、ノアの洪水の後、おそらくバベルの塔の事件の頃で、氷河期は1度だけだったと考えています。

進化論を信じる科学者にとって頭痛の種は、「氷河期がなぜ起こったのか?」ということです。それは地球の寒冷化だけでは氷河が発達しないからです。

【氷河の発達条件：温かい海と寒い夏】

湿気が多いのは夏と冬とどちらの季節でしょうか。私たちも体感することですが、当然夏です。気温が高い方が

写真/ペリト・モレノ氷河



空気中に水蒸気が多く含まれるからです。逆に冬は気温が低いために湿気を含むことができません。地球がただ寒冷化するだけでは空気が乾燥して水蒸気を含むことができなくなり、降雪量が減ります。降雪量が減れば氷河は発達しません。

では、氷河が発達する条件は何でしょうか。それは、温かい海と寒い夏の存在です。水温が温かいことで、多量の水蒸気が発生します。湿気を多く含む空気は陸地へ移動してたくさんの雪を降らせます。夏に気温があまり上がらないことで、降った雪は溶けきらないうちに再び冬を迎えます。これが繰り返されることで氷河が発達します。ですから、ただ地球が寒冷化するだけでは、このような状況は出現しません。これを可能にするのがまさにノアの洪水後の地球の状況なのです。

【ノアの洪水「大いなる水の源」】

ノアの洪水は、「大いなる水の源がごとごとく張り裂け」とあるように大量の地下水が噴出し、火山活動が活発化したことがわかります。

洪水後の海水温は現在よりもかなり高かった（平均約 30℃）と推定されます。ですから世界中が熱帯や亜熱帯のような気候となったことでしょう。

南極氷床を掘り下げると、氷床の下に熱帯植物が茂っていた痕跡が見つかります。これはおそらくノアの洪水直後に茂った植物でしょう。しかし、徐々に海水温が下がります。そしておそらく 100 年経った頃、ちょうどバベルの塔の事件が起こった頃は、氷河時代が発達するのに最適な環境が整っていたでしょう。そしてアメリカ大陸に広がる大量の火山灰層などから、ノアの洪水後に火山噴火が起こったことがわかります。

火山噴火による煙霧質や火山灰によって太陽光が遮断され、地表があまり温められないと寒い夏になります。

冬になると、蒸発した水蒸気は雪となって山間部や極地方に降り、その繰り返しで氷河が次第に発達して厚く堆積していったでしょう。そして最も氷河が発達し、地表の 30% が氷河に覆われた時、海面は現在よりもずっと低くなり、表紙の世界地図にあるように世界中が地続きになったことが想定されます。

これによってノアの箱船を出た動物たちは、世界中に増え広がっていった可能性が考えられます。最初氷河の発達した地域には、サーベルタイガー、マンモス、ケブカサイなどその環境に適した生物が繁殖したでしょうが、や

がて氷河が消滅するにつれてそれらも絶滅したと考えられます。

【陸橋：バベルの塔と人類の移住】

陸橋とは、かつて氷河期に海面が下がり大陸と地続きであった場所を指します。現在は海面下になってしまいましたが、当時は世界中に陸伝いに移動することができたと考えられます。ノアの洪水の直後は、人々は一緒に暮らしていました。しかしバベルの塔の事件で人々は言語が通じなくなり、家族ごとに世界中に移住していかなければならないような状況が作られました。おそらくバベルの塔の事件から数百年

は氷河期が続いたと考えられます。その間に人類は世界中に広がりました。当時陸橋となっていたベーリング海峡を渡ってアメリカ大陸へ移住したアメリカインディアンの祖先や、陸橋となっていた日本海を渡って日本人は日本に移住してきたでしょう。やがて海水温が下がり続け、火山活動も落ち着くにつれて氷河は衰退し、徐々に現在の地球環境となったことが聖書から推定されます。

聖書を否定して答えを出そうとしても、氷河の発達には十分に説明できません。しかしノアの洪水とバベルの塔の事件という聖書の歴史を信じるなら、

無理なく、必然的に氷河期が出現する環境が存在したことを理解できるのです。

ジェネシスジャパン 会員読書サークル



2月の書籍は、ヘンリー・モリス著、宇佐神正海訳の「黙示録の記録／第四章『御座の周り』」を予定しています。

会員読書サークルはジェネシスジャパン会員の方が対象です。参加は無料です。参加ご希望の会員は下記までメールを下さい。アクセス情報をお送りします。

mail: gjm@genesisjapan.com

PCのない会員の方は、実費でプリント版をお送りします。事務局までご連絡ください。

春の創造セミナー @茨城



春の創造セミナーでは、ノアの洪水後の世界に関して総合的に考えます。聖書に基づく大陸移動・バベルの塔・氷河期・動物や人の移動に関して一緒に学びませんか？ また、ミュージアムパーク茨城県自然博物館では企画展「マンモスが渡った橋」を開催4月3日に見学します。ご参加をお待ちしています。

春の創造セミナー@茨城

- 4月2日(木)～4日(土)
- 会場：水海道あすなの里
茨城県常総市大塚戸町310
- 定員：55名、年齢制限なし





写真／天鳥の褶曲（周参見町）

夏の聖書&科学カンファレンス@和歌山

今年の第六回聖書&科学カンファレンスは、8月17～19日、和歌山県潮岬、本州最南端の地にある和歌山県立潮岬青少年の家で開催することになりました。野外観察は、写真のように地層がねじれた天鳥の褶曲です。

先日、ノアの箱船記念館設立準備会の孫宣教師と共に天鳥の褶曲の下見に行ってきました。天鳥の褶曲は、海岸に面した磯のところにあり、国道42号線から歩いて20分程度海岸に下ったところにあります。ただし、けもの道のような少し険しい道やすべりやすい岩場を通るため、すべりにくい靴が必要で

す。また、希望者は船から眺められるように船をチャーターしました（料金が一人1300円程かかります）。

満潮時は陸路から現場に行くことはできませんが、18日の午後1時53分が干潮になるので、その一時間前頃から現場へのアタックを開始する予定です。

創造を信じる科学者は、褶曲は短期間で地層が堆積し、その地層が固まる前に急速に左右に押された証拠だと考えています。褶曲に関して詳しくは次回書きますが、今から一緒に洪水の証拠を見に行きませんか。

ジェネシスジャパン クリエイションフォーラム 2015 イベント予定

■ 2015/4/2～4

春の創造セミナー「洪水後の世界」
大陸移動・バベルの塔・氷河期・
動物や人の移住の謎に迫る！
@水海道あすなろの里
茨城県常総市大塚戸町310
講師：宇佐神実・山本哲也・加藤義人
ミニ水族館見学
茨城県自然史博物館見学
企画展「氷河期の動物大移動」
*対象：子どもから大人まで

■ 2015/5/6-14 予定

聖書と創造された世界をめぐるツアー
*行き先：
創造博物館 / アーミッシュ村 / 化石発掘体験 /
ホーリーランド・エクスペリエンス（聖地
体験…聖書時代のイスラエルのテーマパーク）
ほか
*ナビゲート：宇佐神実
ジョエル・カウフマン
*詳細は、お問合せ下さい。

■ 2015/8/17-19

CFJ 聖書&科学カンファレンス
@潮岬青少年の家
歌山県東牟婁郡串本町潮岬 669
講師：CFJ 加盟団体講師陣
一般カンファレンス
*科学者／牧師による創造論の講演／Q&A
ポスターセッション
*関心のある話題を科学者と語り合う
キッズ・カンファレンス
*聖書と科学の話&ゲーム
*エビとカニの水族館見学
フィールドトリップ
*天鳥の褶曲とフェニックスの褶曲
*橋杭岩（串本町）など
*オプションで船から褶曲見学

■ 2015/10/28 0～30

ジェネシスジャパン秋の創造セミナー
@ホテルグリーンプラザ白馬
主講師：宇佐神正海

写真／橋杭岩（串本町）

